

## 会議録

会議の名称	西東京市文化財保護審議会 平成28年度第2回会議
開催日時	平成28年8月19日（金）午前10時から12時
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：鈴木委員、石井（則）委員、石井（正）委員、多々良委員、 廣瀬委員  事務局：岡本課長、掛谷係長、阿久津主事、亀田主事、吉村主事、林文化財 保護専門員
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 協議事項               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市指定文化財の候補（案）について</li> </ol> </li> <li>3 報告事項               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 西東京市文化芸術振興推進委員会委員への委員推薦について</li> <li>(2) 下野谷遺跡の保存・活用について</li> <li>(3) 文化財事業実施報告                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財</li> <li>・その他の文化財</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>
会議資料の 名 称	資料1 市指定文化財の候補（案）について 資料2 下野谷遺跡の保存活用について 資料3 埋蔵文化財調査一覧 資料4 文化財事業一覧 資料5 今後の文化財事業一覧  その他の資料 多摩・島しょ企画事業チラシ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

## 会 議 内 容

### 1. 開会

- 鈴木会長：ただいまより平成28年度第2回定例会を始める。
- 事務局：平成28年度新任者の紹介
- 事務局：配布資料・出欠の確認。前回会議録について訂正等ある場合は8月31日までに連絡願いたい。

### 2. 協議事項

#### (1) 新規の市文化財の指定について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料1に沿って説明)  
天神社拝殿を西東京市文化財とする方向性について、委員のご意見を伺いたい。指定までの流れとしては、教育委員会から諮問を行い、本審議会から答申後に、教育委員会で指定の議決を得て告示することとなる。  
また、天神社については、文化財としての価値づけのため、引き続き総合的な調査を実施する。今後の総合調査の内容等について、委員のご意見を伺いたい。
- 鈴木会長：指定については、単体での指定であれば拝殿が良いということで、拝殿を対象としていく。  
総合調査について、天神社に関連する歴史・美術資料、蓮見家文書があるため、個別でなく全体としての調査が望ましい。先生方の協力が必要である。
- 石井(則)委員：所有者は田無神社になるのか。
- 事務局：所有者は宗教法人天神社である。宗教法人の代表としては、天神社の宮司を兼務している田無神社の宮司となっている。
- 石井(則)委員：指定対象とすることについて、氏子の意見はどうか。
- 鈴木会長：先日、氏子の役員の方々と話す機会があった。「大切に守っていきたい」という考えを持っていただいております、指定の気運があると感じた。
- 廣瀬委員：蓮見家文書は蓮見家で保管しているのか。マイクロフィルムはとっているのか。
- 事務局：蓮見家で保管している。マイクロフィルムは、図書館でとっている。
- 鈴木会長：拝殿を指定文化財とする方向性について意見はないか。
- 石井(正)委員：賛成
- 廣瀬委員：賛成
- 鈴木会長：天神社を総合調査することによって、西東京市のことがよくわかるだろう。
- 石井(則)委員：建物だけでなく環境も大事である。土地全体を指定にすることはできないのか。
- 鈴木会長：景観の指定も可能だと思う。
- 事務局：現在は西東京市文化財保護条例上の指定の考えでは、景観としての範疇は

ない。

- 石井(則)委員：東伏見稻荷神社はどうか。
- 事務局：市指定ではない。土地として指定するなら史跡・名勝の方法しか、現在は  
ない。
- 石井(正)委員：総合調査については、昨年度に策定した文化財保存・活用計画との関  
連で、時期や規模、目的などを整理することが有効ではないか。
- 鈴木会長：実施に当たっては、どのくらいの期間で何を行うのか、委員に協力いた  
だくのかなど検討しなければならない。
- 石井(正)委員：委員だけでは難しい問題も出てくると考えられる。
- 鈴木会長：市民調査員として市民の方に協力をいただくなど、いろいろな方法が考  
えられる。
- 石井(正)委員：市民調査員を含めて、本審議会だけで進めるのではなく、総合調査を行  
いながら地域づくりにも貢献するような形で行えれば望ましい。
- 石井(則)委員：文化財保護には周辺住民の理解や協力が重要であり、意見があったよ  
うに地域の関係性なども考慮しながら取り組むことができればよい。
- 鈴木会長：実施に当たっての検討課題はあるが、総合調査を進めるという方向性は問  
題ないか。
- 委員：賛成
- 石井(正)委員：実施に当たっての検討事項については、現時点で議論するのは難し  
く、素案を作成していただくのが現実的である。
- 廣瀬委員：まずは、関連文化財のリスト化が必要でないか。
- 鈴木会長：私と事務局でリスト作成、次回提示でどうか。
- 石井(則)委員：本審議会委員は、全員が天神社に行ったことがあるのか。
- 事務局：全員ではない。後日、天神社の予備調査を予定しているので、委員にもな  
るべく参加いただきたい。日程は事務局で調整する。
- 鈴木会長：市民調査員という形で行うのならば、氏子には熱心に文書を調べている方  
がいるので、そういう方の参加が望ましい。組織化して調査を行うことも  
よいのではないか。
- 石井(正)委員：調査に当たっては、ある程度の年次で区切りをつけながら、段階的に  
行っていく必要がある。
- 事務局：まずは予備調査を行って大まかなリストを作成し、目的・組織・年次等  
についての素案を考えたい。
- 鈴木会長：リストをみて、個別に先生方にも協力をお願いしたい。

### 3. 報告事項

#### (1) 西東京市文化芸術振興推進委員会委員への委員推薦について

- 鈴木会長：事務局から報告をお願いします。
- 事務局：西東京市文化芸術振興推進委員会の委員改選に当たり、本審議会から1名  
の委員推薦依頼があったため、鈴木会長に相談し、廣瀬委員を推薦した。
- 委員：(異議なし)

## (2) 下野谷遺跡の保存・活用について

- 鈴木会長：事務局から報告をお願いする。
- 事務局：(資料2に沿って説明)  
追加指定のための意見具申について、7月の教育委員会定例会に提出した。
- 石井(則)委員：家屋がある場合、展示室としての利用はどうか。
- 事務局：基本的には更地である。
- 事務局：下野谷遺跡保存活用計画について、委託事業者の募集・選定を行った。現在契約に向けた事務の調整中である。  
また、国の交付金を活用して、デジタルコンテンツを作成しイベントの実施や関連グッズの作成、西武線全線に車内広告を出すなど、遺跡と周辺地域のブランド化を図り市内外に発信する。
- 鈴木会長：これからオリンピックもある。
- 石井(則)委員：近隣の国史跡を見学に行くといい。どうしたらお客様が西東京市に来るか。駅前にあるところは他にない。
- 石井(正)委員：下野谷遺跡単体ではなく、東京・首都圏など、ある程度のまとまりでPRをすすめていくのがよいのではないか。
- 鈴木会長：保存・活用計画のキーワードである連携を意識していきたい。

## (3) 文化財事業実施報告

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いする。
- 事務局：(資料3、資料4、資料5に沿って説明)  
埋蔵文化財調査は、4件あった。  
文化財事業は、14件あった。下野谷遺跡が国史跡になったことで、市内全中学校の1年生対象にした下野谷遺跡の出張授業を行った。1時限使って、体育館等でパワーポイント使用した遺跡の説明のほか、本物の土器を見たり、触れたりする機会を設け、好評であった。  
今後は、6件の文化財普及事業を予定している。コール田無においては、下野谷遺跡ができる前の気候変動の話から、どうして大集落ができたのかという一般向けの講演会を予定している。ワークショップフェスとして、土器の拓本づくりや編布づくりなど縄文文化を感じられる郷土資料室企画を予定している。秋の屋敷林企画では、今年は「たくあん」をテーマに、地域産業としての生産方法等だけでなく、漬物石の流通が鉄道の開通とともに広がったという歴史的な背景も含めて、市民の方が調べたものを発表する。藍染体験もある。シンポジウムは、「森・山・海の縄文」をテーマに、縄文文化の多様性についての内容とする予定である。
- 鈴木会長：全体を通して何かあるか。
- 石井(正)委員：昭和初期から、概ね100年が経過しようとしている。東伏見稲荷神社、鉄道開発、東大農場など、昭和初期のものを文化財として視野に入れていかなければならない。今後、昭和初期の頃のものを文化財として残すようにしていく必要がある。
- 石井(則)委員：西東京市には西武線が2本通っており、武蔵野台地を考える上でも重

要である。

- 事務局：鉄道関連の残っている文化財としては、どのようなものが考えられるか。
- 石井(正)委員：他市では、熱心に手を入れて看板などを出したりしている。沿線の自治体で連携できれば、効果的である。
- 廣瀬委員：いこいなトレインの効果はあったか。市外在住者をターゲットとするのであれば、中央線での中吊広告も検討してはどうか。
- 事務局：他市でも同様の事業が実施されており、沿線の方がよく見ているようだ。今回のウォークラリーの中吊り広告は、全車両に1枚ずつのためどの車両でも必ずどこかに載せている。中吊り広告は目に入るため、知ってもらうきっかけになる。
- 鈴木会長：次回の日程を決めたい。
- 事務局：本日欠席の委員もいるので、11月25日（金）を第一候補として調整する。
- 鈴木会長：以上をもって、平成28年度第2回会議を閉会する。